

10 雇用労働

総農家数のうち、過去1年間に農業臨時雇いを雇い入れた農家は、その割合が昭和60年の7.4%から8.7%に上昇した。雇い入れ延べ人数についても雇い入れ農家数の増加に伴い2.4%増加し、総農家数1戸当たりでは、昭和60年の2.0人から2.3人に増加（雇い入れ農家1戸当たりでは27.3人から26.3人に減少）した。

手間替え・ゆいを受け入れた農家数の総農家数に対する割合は、昭和60年の1.5%から0.7%に低下し、また延べ人数については69.5%減少した。

手伝いを受け入れた農家数の総農家数に対する割合は、昭和60年の5.3%から6.6%に上昇し、延べ人数では16.3%上昇した。（第19表）

第19表 農業雇用労働

単位（農家数：戸、人数：人）

区 分		農業臨時雇		手間替え・ゆい		手 伝 い	
		雇い入れ 農家数	延べ人数	受け入れた 農家数	延べ人数	受け入れた 農家数	延べ人数
実 数	昭和60年	6,814	186,303	1,333	14,831	4,857	57,564
	平成 2年	7,252	190,754	573	4,522	5,501	66,922
総農家数に対する割合及び1戸当たり人数	昭和60年	7.4 %	2.0 人	1.5 %	0.2 人	5.3 %	0.6 人
	平成 2年	8.7	2.3	0.7	0.1	6.6	0.8

11 農作業の受委託等

(1) 水稲作作業を請負に出した農家数は、39,354戸（販売農家28,022戸、自給的農家11,332戸）であった。

また、水稲作付農家数に占める請け任せ農家数の割合は、昭和60年に比べ販売農家で25.6%から47.7%に、自給的農家で51.7%から66.5%に高まった。（第20表）

(2) 水稲作作業を請負に出した農家数の割合を作業別に見ると、販売農家では育苗が昭和60年の16.8%から22.0%、田植が10.1%から12.8%、稲刈り・脱穀が14.4%から18.5%へとそれぞれ高まり、自給的農家でも育苗が43.0%から51.0%、田植が33.6%から36.6%、稲刈り・脱穀が37.8%から43.2%と同様に高くなっている。

（第20表）

第20表 水稲作を請負わせた農家数

単位（農家数：戸、面積：a、割合：%）

区 分	販 売 農 家				自 給 的 農 家				
	実 数		農家数割合		実 数		農家数割合		
	農家数	面 積	平 2	昭 6 0	農家数	面 積	平 2	昭 6 0	
実 農 家 数	28,022	...	47.7	25.6	11,332	...	66.5	51.7	
作 業 別	育 苗	12,915	532,994	22.0	16.8	8,700	140,008	51.0	43.0
	耕 起・代かき	5,709	234,508	9.7	...	5,206	82,494	30.6	...
	田 植	7,540	301,412	12.8	10.1	6,243	98,823	36.6	33.6
	防 除	4,332	251,038	7.4	5.5	2,136	34,355	12.5	10.1
	稲刈り・脱穀	10,847	457,059	18.5	14.4	7,365	117,809	43.2	37.8
	乾 燥・調 整	22,588	1,078,900	38.4	...	9,470	154,990	55.6	...
耕起～脱穀の全作業	1,807	...	3.1	...	1,730	...	10.2	5.8	

注：1 「農家数割合」は、「水稲作付農家数」を100.0とした割合。

2 昭60の「実農家数割合」は、育苗から稲刈り・脱穀までのいずれか1作業を請け負った農家数の割合である。

- (3) 水稲作作業の請け負わせ先別では、水稲作付け農家の52.9%が主として個人に、47.1%が主に組織等に請け負わせている。作業別では、耕起・代かき、田植、稲刈り・脱穀についてはほぼ6～7割の農家が主に個人に請け負わせているのに対し、育苗では70.4%、防除では62.5%が主に組織等に請け負わせている。(第21表)

第21表 水稲作作業の主な請け負わせ相手先別
農家数構成比

単位：%

計 (延べ)		育苗		耕起 代かき		田植		防除		稲刈り 脱穀	
主に 個人	主に 組織	主に 個人	主に 組織	主に 個人	主に 組織	主に 個人	主に 組織	主に 個人	主に 組織	主に 個人	主に 組織
52.9	47.1	29.6	70.4	69.4	30.6	68.0	32.0	37.5	62.5	64.9	35.1

- (4) 水稲作、水稲作以外の作業を含めて、農作業を請け負った農家数は総農家数(販売農家)の3.9%に当たる2,409戸であり、このうち水稲作作業は2,336戸となっている。

水稲作作業を請け負った農家数2,336戸のうち全作業を請け負った農家数は890戸。その他は部分作業の請け負いであり、水稲作作業の請け負った農家数に対して、耕起・代かきが50.4%、田植が49.7%、稲刈り・脱穀が63.7%であった。

(第22表)

第22表 農作業を請け負った農家数
及び割合(販売農家)

単位(農家数:戸, 割合:%)

請け負った農家数			水稲作の 全作業を 請け負っ た農家数	水稲作の主な作業を 請け負った農家数		
実農 家数	水稲作 作業	水稲作以 外の作業		耕起・ 代かき	田植	稲刈り・ 脱穀
2,409	2,336	316	890	1,178	1,161	1,488
3.9	3.7	0.5	1.4	50.4	49.7	63.7

注：販売農家数を100.0とした割合。

ただし、水稲作の作業別請け負った農家数割合は、水稲作作業を請け負った農家数を100.0とした割合。

(5) 水稲作作業を請け負った実農家数は、総農家数（販売農家）の3.7%に当たる2,336戸で、このうち、全作業を請け負った農家数は890戸となっている。

経営耕地面積規模別では、0.5～2.0haの階層の農家の請け負いが全体の69%を占めている。（第23表）

第23表 水稲作作業を請け負った農家数（販売農家）

単位（農家数：戸，増減率：%）

区 分	水稲作を請け負った実農家数	水稲作の全作業	作 業 別						
			育 苗	耕起・代かき	田 植	防 除	稲刈り・脱穀	乾燥・調整	
実 数	平 2	2,336	890	568	1,178	1,161	205	1,488	867
	昭 60	2,704	641	764	...	1,315	247	1,775	...
増減率（平2/昭60）		△13.6	38.8	△25.7	...	△11.7	△17.0	△16.2	...
経営耕地面積規模別	0.5ha未満	214	71	32	108	100	14	109	50
	0.5～1.0	700	245	133	333	339	62	435	217
	1.0～2.0	906	346	213	439	427	79	572	346
	2.0～3.0	275	112	75	148	139	27	189	114
	3.0～5.0	162	72	68	95	104	18	117	81
	5.0ha以上	79	44	47	55	52	5	66	59

1.2 自営農業以外の農作業への従事状況

(1) 自営農業以外の農作業に従事した世帯員のいる農家数は、2,693戸で総農家数の3.2%となっている。このうち、オペレーターとして雇われた世帯員のいる農家数は962戸であった。（第24表）

(2) 自営農業以外の農作業に従事した世帯員数は、3,336人であった。

世帯主の地位別では、世帯主が2,132人で全体の64%を占めている。

従事日数別に見ると、9日以下の短期の従事者が54%を占めている。（第25表）

第24表 自営農業以外の農作業への従事農家数

単位（農家数：戸，割合：%）

区 分	総農家数	従事した世帯員のいる農家数			
		実農家数	オペレーターとして雇われ	オペレーター以外で雇われ	手伝い等
実 数	83,427	2,693	962	767	1,128
割 合	100.0	3.2	1.2	0.9	1.4

第25表 自営農業以外の農作業に従事した世帯員

単位(農家数:戸, 割合:%)

区分		計	従事日数別				
			9日以下	10~29	30~59	60日以上	
総数		3,336	1,801	838	291	406	
世帯員の地位別	実数	世帯主	2,132	1,185	553	167	227
		あとつぎ	257	134	67	14	42
		その他	947	482	218	110	137
	構成比	世帯主	100.0	55.6	25.9	7.8	10.7
		あとつぎ	100.0	52.1	26.1	5.5	16.3
		その他	100.0	50.9	23.0	11.6	14.5

1.3 農業経営の部門別農家数

(1) 農産物販売金額1位の部門別農家数

総農家数(販売農家)のうち農産物を販売した農家数は、昭和60年から平成2年の5年間に11.2%減少し57,754戸となった。また、総農家数(販売農家)に占める割合は、92.6%になっている。

次に、農産物販売金額1位の部門別農家数の割合を見ると、稲を1位とするものが79.7%と大半を占めている。次いで工芸農作物が5.0%、果樹類が3.7%、施設園芸、麦類、その他の作物が2.5%、野菜類が1.8%となっている。酪農0.6%、肉用牛0.5%、養鶏0.4%、養豚0.3%など畜産部門の割合は低い。

農産物販売金額1位の部門別農家数を販売金額規模別に見ると、稲は約半数以上の農家が50万円未満である。また、麦類もその8割以上が50万円未満となっている。これに対して、畜産の部門では販売金額の高い階層での農家数割合が高い。農産物販売金額が500万円以上の階層は総農家数(販売農家)に対して4.9%であるが、部門別には酪農が79.6%、養豚が75.6%、養鶏が68.4%、肉用牛が57.9%、施設園芸42.9%などとなっている。(第26・27表)(図2)

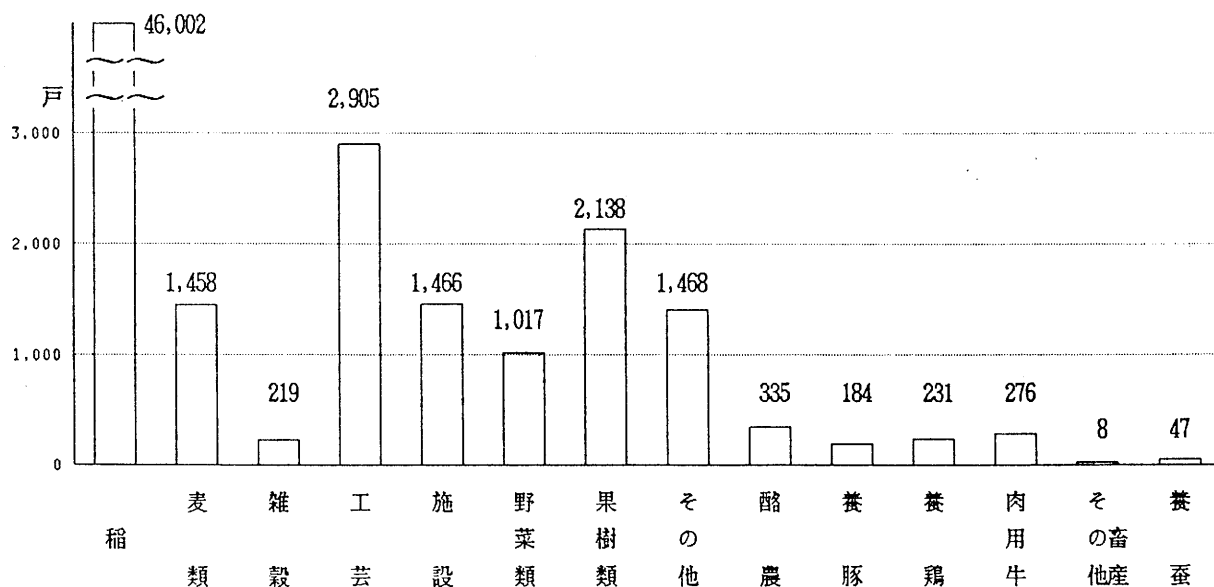
(2) 水稲収穫農家数

水稲収穫農家数は、58,712戸で昭和60年以降の5年間に10.9%減少した。(第28表)

(3) 麦類収穫農家数

麦類収穫農家数は、12,228戸で昭和60年以降の5年間に7.8%増加した。(第29表)

図2 農産物販売金額1位の部門別農家数



第26表 農産物販売金額1位の部門別農家数（販売農家）

単位（農家数：戸，構成比：％）

区分		農産物を販売した農家数	稲	麦類	雑穀類 豆	工芸農作物	施設園芸	野菜類	果樹類	その他の作物	酪農	養豚	養鶏	肉用牛	その他の畜産	養蚕
実数	昭60	65,015	52,031	844	347	3,591	1,411	1,324	2,437	1,564	406	313	254	380	9	104
	平2	57,754	46,002	1,458	219	2,905	1,466	1,017	2,138	1,468	335	184	231	276	8	47
構成比	昭60	100.0	80.0	1.3	0.5	5.5	2.2	2.0	3.8	2.4	0.6	0.5	0.4	0.6	0.0	0.2
	平2	100.0	79.7	2.5	0.4	5.0	2.5	1.8	3.7	2.5	0.6	0.3	0.4	0.5	0.0	0.1

第27表 農産物販売金額1位の部門別農家の農産物販売金額規模別構成比（販売農家）

農産物販売金額規模	計	稲	麦類	雑穀類 豆	工芸農作物	施設園芸	野菜類	果樹類	その他の作物
計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
50万円未満	49.1	53.5	83.0	74.9	40.9	2.1	31.0	27.5	11.4
50~100	23.7	26.2	12.3	11.9	16.8	5.4	17.6	21.3	9.9
100~150	10.7	11.3	3.2	3.2	7.5	5.7	12.6	14.5	9.1
150~200	5.5	5.3	0.9	2.7	5.4	7.7	11.3	10.1	7.6
200~300	3.5	2.5	0.2	2.3	6.6	14.5	9.9	10.1	9.2
300~500	2.6	0.9	0.2	2.7	7.9	21.7	9.0	8.8	12.3
500~700	1.4	0.2	0.0	1.4	5.0	15.7	4.7	3.9	10.3
700~1000	1.2	0.1	0.1	0.9	4.6	12.1	2.3	2.4	10.6
1000~1500	0.8	0.0	-	-	3.1	7.1	1.0	0.9	7.7
1500~2000	0.4	0.0	0.1	-	0.8	2.8	0.2	0.3	4.8
2000~3000	0.5	0.0	-	-	0.8	2.4	0.2	0.1	3.7
3000万円以上	0.6	0.0	-	-	0.6	2.8	0.2	0.1	3.4

(つづき)

単位：％

農産物販売金額規模	酪農	肉用牛	養豚	養鶏	その他の畜産	養蚕
計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
50万円未満	3.0	6.2	2.2	3.4	-	46.8
50~100	2.1	8.7	4.9	5.2	-	32.0
100~150	1.5	7.6	3.2	3.9	25.0	6.4
150~200	2.1	5.1	2.7	5.2	37.5	8.5
200~300	3.6	6.9	2.7	4.8	-	2.1
300~500	8.1	7.6	8.7	9.1	12.5	2.1
500~700	5.7	5.4	4.9	5.2	-	2.1
700~1000	11.6	7.6	9.8	9.5	12.5	-
1000~1500	13.4	7.2	10.8	9.5	12.5	-
1500~2000	13.1	8.7	8.2	5.2	-	-
2000~3000	21.8	9.4	10.9	13.0	-	-
3000万円以上	14.0	19.6	31.0	26.0	-	-

第28表 水稻収穫面積規模別農家数 (販売農家)

単位 (農家数: 戸, 構成比: %)

区分	収穫農家数	10 a	1 0	3 0	5 0	7 0 a	1. 0	1. 5	2. 0	3. 0	5. 0	
		未 満	3 0	5 0	7 0	1.0 ha	1. 5	2. 0	3. 0	5. 0	h a 以上	
実数	昭60	65,919	526	12,107	20,613	12,651	10,726	7,039	1,682	465	95	15
	平2	58,712	512	10,803	18,832	11,436	9,180	5,882	1,407	491	125	44
構成比	昭60	100.0	0.8	18.4	31.2	19.2	16.3	10.7	2.6	0.7	0.1	0.0
	平2	100.0	0.9	18.4	32.1	19.5	15.6	10.0	2.4	0.8	0.2	0.1

第29表 麦類収穫面積規模別農家数 (販売農家)

単位 (農家数: 戸, 構成比: %)

区分	収穫農家数	10 a	1 0	3 0	5 0 a	1. 0	1. 5	3. 0	5. 0	
		未 満	3 0	5 0	1.0 ha	1. 5	3. 0	5. 0	h a 以上	
実数	昭60	11,338	2,480	6,145	1,779	792	98	33	7	4
	平2	12,228	1,129	5,636	3,396	1,778	200	57	18	14
構成比	昭60	100.0	21.9	54.2	15.7	7.0	0.9	0.3	0.0	0.0
	平2	100.0	9.2	46.1	27.8	14.6	1.6	0.5	0.1	0.1

(4) 野菜収穫農家数, 果樹栽培農家数, 施設園芸農家数

ア 野菜 (露地) 収穫農家数は, 43,792戸でこの5年間に19.4%減少した。収穫面積規模別では, 1.0ha未満が99.7%と大部分を占めている。(第31表)

イ 果樹栽培農家数は, 25.1%減少し, 8,523戸となった。(第30表)

ウ 施設園芸農家数は2,395戸で5.7%減少したが, その面積は38,706aとなり, 1戸当たり面積は16.2aで, この5年間にいずれも増加した。(第32表)

第30表 果樹栽培農家及び栽培面積

単位 (農家数: 戸, 面積: a, 増減率: %)

区分		農家数	面積
実数	昭和60年	11,374	273,896
	平成2年	8,523	236,893
増減率	平2/昭60	△25.1	△13.5

第31表 野菜（露地）収穫面積規模別農家数（販売農家）

単位（農家数：戸，構成比：％）

区分	収穫農家数	5 a	5	1 0	2 0	3 0	5 0 a	1. 0	1. 5	2. 0	
		未 満	1 0	2 0	3 0	5 0	1.0 ha	1. 5	2. 0	以 上	
実数	昭60	54,293	37,962	7,457	5,072	1,713	1,281	625	128	19	36
	平 2	43,792	29,534	6,442	4,660	1,485	1,034	512	78	31	16
構成比	昭60	100.0	69.9	13.7	9.3	3.2	2.4	1.2	0.2	0.0	0.1
	平 2	100.0	67.4	14.7	10.6	3.4	2.4	1.2	0.2	0.1	0.0

第32表 施設園芸農家数及び施設面積（販売農家）

単位（農家数：戸，面積：a，増減率：％）

区分	施設のある農家数	施設総面積	施設のある農家1戸当たりの施設面積	ビニールハウス		ガラス室		
				農家数	面積	農家数	面積	
実数	昭和60年	2,539	35,922	14.1	2,416	32,742	243	3,180
	平成 2年	2,395	38,706	16.2	2,296	34,961	220	3,745
増減率	平2/昭60	△ 5.7	7.8	14.8	△ 5.0	6.8	△ 9.5	17.8

(5) しいたけ栽培農家数

しいたけほだ木保有農家数は、1,825戸でこの5年間に36.3%減少し、保有ほだ木本数規模別でも全階層で減少した。また、保有ほだ木本数が500本未満の農家数の割合が全体の62.3%になっている。（第33表）

第33表 しいたけの保有ほだ木本数規模別農家数
(販売農家)

単位(農家数:戸, 構成比:%)

区分	ほだ木保有 農家数	499本	500	1,000	3,000	5,000	10,000	30,000	
		以下	5 999	5 2,999	5 4,999	5 9,999	5 29,999	本 以上	
実 数	昭60	2,865	1,949	117	226	101	148	210	114
	平2	1,825	1,138	79	147	62	129	185	85
構 成 比	昭60	100.0	68.0	4.1	7.9	3.5	5.2	7.3	4.0
	平2	100.0	62.3	4.3	8.1	3.4	7.1	10.1	4.7

(6) 家畜飼養農家数

ア 乳用牛(2歳以上)飼養農家数は、354戸でこの5年間に20%減少した。

頭数規模別には、30~49頭の飼養農家数が増加したが、それ以外の階層では全て減少した。(第34表)

第34表 2歳以上の乳用牛飼養頭数規模別農家数
(販売農家)

単位(農家数:戸, 構成比:%)

区分	飼養農家数	1	5	7	10	15	20	30	50頭	
		5 4頭	5 6	5 9	5 14	5 19	5 29	5 49	以上	
実 数	昭60	442	39	30	30	53	47	96	108	39
	平2	354	16	16	22	43	33	77	113	34
構 成 比	昭60	100.0	8.8	6.8	6.8	12.0	10.7	21.7	24.4	8.8
	平2	100.0	4.5	4.5	6.2	12.2	9.3	21.8	31.9	9.6

イ 肉用牛飼養農家数は、368戸でこの5年間に26.2%減少し、飼養頭数規模別では50頭以上の農家のみ増加した。この結果、飼養農家総数に占める50頭以上の飼養農家数の割合は、昭和60年の19.5%から27.7%に上昇した。(第35表)

第35表 肥育中の肉用牛飼養頭数規模別農家数
(販売農家)

単位(農家数:戸, 構成比:%)

区分	飼養農家数	1	5	10	20	30	50頭	
		4頭	9	19	29	49	以上	
実数	昭60	498	175	66	66	37	57	97
	平2	368	99	42	49	35	41	102
構成比	昭60	100.0	35.1	13.3	13.3	7.4	11.4	19.5
	平2	100.0	26.9	11.4	13.3	9.5	11.2	27.7

ウ 肥育中の豚の飼養農家数は、185戸でこの5年間に23%減少した。

飼養頭数規模別では、299頭未満の飼養農家数が減少し、300頭以上の飼養農家が増加した。(第36表)

第36表 肥育中の豚飼養頭数規模別農家数
(販売農家)

単位(農家数:戸, 構成比:%)

区分	飼養農家数	1	10	20	30	50	100	300	500	1000	
		9頭	19	29	49	99	299	499	999	以上	
実数	昭60	240	17	18	13	14	19	66	38	40	15
	平2	185	3	8	10	3	11	38	40	48	24
構成比	昭60	100.0	7.1	7.5	5.4	5.8	7.9	27.5	15.8	16.7	6.3
	平2	100.0	1.6	4.3	5.4	1.6	6.0	20.5	21.6	26.0	13.0

エ 鶏(6か月以上の採卵鶏)の飼養農家数は、348戸でこの5年間に65.5%減少した。

飼養羽数規模別では、10,000羽以上の飼養農家数が増加したが、それ以外の階層においては全て減少した。(第37表)

第37表 6か月以上の採卵鶏飼養羽数規模別農家数
(販売農家)

単位(農家数:戸, 構成比:%)

区分	飼養農家数	1	100	300	500	1,000	2,000	3,000	5,000	10,000	50,000	
		99羽	299	499	999	1,999	2,999	4,999	9,999	49,999	羽以上	
実数	昭60	1009	656	31	18	34	56	31	55	70	57	1
	平2	348	130	17	8	12	20	23	29	37	67	5
構成比	昭60	100.0	65.0	3.1	1.8	3.4	5.6	3.1	5.5	6.9	5.6	0.0
	平2	100.0	37.4	4.9	2.3	3.4	5.8	6.6	8.3	10.6	19.3	1.4

オ 養蚕農家数は、130戸でこの5年間に69.5%減少し、掃立卵量規模別でも全階層で減少した。(第38表)

第38表 養蚕掃立卵量規模別農家数(販売農家)

単位(農家数:戸, 構成比:%)

区分	掃立農家数	3箱	3	6	10	20	30	50箱	
		未満	6	10	20	30	50	以上	
実数	昭60	426	111	145	73	64	22	7	4
	平2	130	29	53	27	12	7	1	1
構成比	昭60	100.0	26.1	34.0	17.1	15.0	5.2	1.7	0.9
	平2	100.0	22.3	40.7	20.8	9.2	5.4	0.8	0.8

14 農用機械

(1) 農家が所有（共有を含む）する機械は、動力耕うん機・農用トラクターが90,155台、動力防除機25,884台、動力田植機50,068台、バインダー16,317台、自脱型コンバイン43,983台、米麦用乾燥機40,578台であった。

動力耕うん機・農用トラクターを馬力別でみると、30馬力未満のものが総台数の98.3%とその大部分を占めている。30馬力以上のものは、総台数の1.7%と少ないが、昭和60年に比べ59.5%の高い増加率を示している。

バインダー、米麦用乾燥機の台数は、昭和60年に比べ、それぞれ30.0%、23.4%減少した。（第39表）

第39表 農業用機械所有台数（個人有＋共有）
（全農家）

単位（台数：台、増減率：％）

区 分		動力耕うん機・農用トラクター			動力防除機	動力田植機	バインダー	自脱型 コンバイン	米麦用 乾燥機
		計	30ps未満	30ps以上					
実 数	昭和60年	92,737	91,772	965	28,409	51,658	23,281	42,559	52,978
	平成 2年	90,155	88,616	1,539	25,884	50,068	16,317	43,983	40,578
増 減 率	平2/昭60	△2.8	△3.4	59.5	△8.9	△3.1	△30.0	3.3	△23.4
全農家100戸 当たり台数	昭和60年	100.7	99.6	1.0	30.8	56.0	25.3	46.2	57.5
	平成 2年	108.1	106.2	1.8	31.0	60.0	19.6	52.7	48.6

(2) 農用機械（個人有に限る）の普及状況を経営耕地規模別にみると、動力耕うん機・農用トラクターは総農家100戸当たり台数が0.5ha以上階層では100台以上となっている。また、動力田植機は0.3ha以上階層で、自脱型コンバインは0.5ha以上階層においてそれぞれ50台以上となっている。（第40表）

第40表 経営耕地規模別にみた動力耕うん機 農用
トラクター、動力田植機 自脱型コンバイ
ンの100戸当たり普及台数

単位：台

区 分	総農家100戸当たり台数（個人有）			
	動力耕うん機・農用トラクター	15ps以上	動力田植機	自脱型 コンバイン
計	104.3	33.3	56.1	49.4
販売農家	118.3	42.8	65.7	60.5
例 外 規 定	54.3	0.9	10.2	7.2
0.3～0.5	77.2	16.8	52.1	40.6
0.5～1.0	118.5	38.4	67.6	63.1
1.0～1.5	129.2	62.8	75.7	75.0
1.5～2.0	138.5	77.6	78.0	76.6
2.0～2.5	150.9	84.3	77.0	75.8
2.5～3.0	166.3	95.8	76.5	78.8
3.0～5.0	190.8	112.4	71.5	73.5
5.0ha以上	258.9	168.0	96.6	89.1
自給的農家	62.8	5.4	27.7	16.6